

医療福祉連携実務事例経験証明書（別紙2）に記載した  
代表的な医療福祉連携事例10例について報告します。

年 月 日

別紙2の事例番号と同じ  
番号を記載すること

施設名 ○○総合病院

申請者氏名 日本 太郎

印

事例番号 1

1 年齢 88歳  
2 性別 男・○女  
3 診断名

右大腿骨頸部骨折(内側骨折)  
骨粗しょう症  
高血圧症

4 障害の程度

一昨日、右大腿骨頸部骨折にて、かかりつけA診療所に入院、本日、手術目的で、当院入院。疼痛のため体動困難があるが、肺炎、褥傷、認知症等は無い。

5 受けている治療及び介護サービス

骨折するまでは、介護を必要としなかった。現在は、骨盤及び右下肢をシーネで固定している。高血圧症で、抗圧剤を内服。

6 連携の内容（具体的に）

当院の登録医であるA先生から、手術目的で紹介があった。○○さんは紹介状及び胸部、骨盤、股関節のX-Pを持参。整形外科主任のB先生及び整形外科外来及び病棟に連絡し、診察の結果○○さんは3病棟（整形外科病棟）に入院された。A先生には、B先生の治療方針（パス）を医療連携室から送付した。○○さんは、当院のクリティカルパスに基づいて、入院後2日目に手術（人工骨頭置換術）し、術後3日目から車椅子移動、同時に歩行訓練をした。術後2週間で杖歩行の訓練、3週間後T字杖歩行で退院され、退院後は3ヶ月間、当院にリハビリテーション通院。その後は、A先生のところで経過を見ることとなった。A先生には連携室からB先生の紹介状を送付した。また、退院前のカンファランスに連携室から職員が同席し、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、診療所のA先生及び看護師さんも出席し、○○さんの退院支援について話し合った。

7 申請者が行なった業務（具体的に）

○○さんの当院受診にあたって、連携室のPCに○○さんの情報を入力した。B先生及び整形外科外来及び病棟への連絡を行った。B先生の返事をA先生に送付した。退院前カンファランスに参加し、これまでの経緯等について説明した。B先生の紹介状をA先生に送付した。○○さんの一連の経過を、連携室のPCに入力した。○○さんの退院後の経過について、A診療所及び地域包括支援センターに聞いた。

(※) 学会から問い合わせる場合があります。各事例番号がどの対象者の事例であるかは、各申請者が管理しておいて下さい。